

「RADIUS GUARD® S」最大 30 万件の端末アカウント管理を実現 大規模な MAC 認証環境に対応する最新バージョンを販売開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下SCSK)は、1U ハーフアプライアンスで最大30万件(これまでの1.5倍)の端末アカウント管理に拡張したRADIUS認証・DHCPアプライアンスサーバー「RADIUS GUARD® S」(ラディウスガード エス)の最新バージョンを2018年9月4日から販売開始します。

1. 背景

「働き方改革」によるフリーアドレスや、テレワークの拡大により、認証基盤のニーズが高まり、無線LAN環境やVPN接続などの構築に必要なユーザー認証やデバイス認証が普及しています。

「RADIUS GUARD® S」は、ID/パスワードによる個人認証はもちろん、証明書による端末認証もサポートし、複数要素の同時チェックによるアクセスコントロールなどの認証基盤としての機能だけでなく、管理者の負担を軽減する機能の実装により、セキュアな認証の仕組みが可能です。

昨今、有線LAN環境における「不正接続端末の社内資産への接続を遮断する」というニーズが高まっています。無線LAN環境と異なり、有線LAN環境の大規模化が進み、これまでの20万件のアカウント管理機能だけでは収容しきれないケースも発生しています。これらの課題を解決するため、「RADIUS GUARD® S」は、最大30万件までの端末アカウントが収容できるよう管理台数を拡張し、大規模なMACアドレス認証の導入を可能としました。

2. 「RADIUS GUARD® S」の特長

「RADIUS GUARD® S」は、大規模な認証アカウントの管理に必要な運用機能を網羅した認証アプライアンスです。オンプレミスからクラウドまで幅広くサポートする高い認証環境の提供だけでなく、運用負荷の低減も実現することから、多くのお客様にご支持いただき、すでに5,000台を超える導入実績があります。

(1) 大規模な認証環境に便利な管理機能

- ① 主にMAC認証のための端末アカウントの登録数を最大30万アカウントまで拡張。
- ② アカウントの管理機能の強化。
 - ・アカウントをディレクトリ単位で管理することで登録数の多い運用でも管理を容易に実現。
 - ・一括登録機能を強化し、登録時の負担を軽減。
 - ・定期インポート機能により、日々の差分反映が自動化可能なほか、既存の資産管理ソフトやデータベースから抽出されたMACアドレス一覧を取り組むことで、登録・削除の更新管理の自動化も実現。
 - ・ディレクトリ単位で定義可能な自動削除機能により、未使用端末の棚卸しも自動化。
- ③ RADIUSクライアント数の多い環境への対応。
 - ・RADIUSクライアントとして最大1万エントリまで登録可能で、大規模な認証環境に対応。
 - ・登録エントリはサブネット指定も可能なため、1万台を超える環境やRADIUSクライアントが頻繁に増減する環境での負荷を軽減。
 - ・サブネット指定でのRADIUSクライアントにも登録し、認証ログはRADIUSクライアント単位に識別可能となるよう任意編集機能を追加。
- ④ MACアドレスリストがない環境でも、MAC認証のリクエストからMACアドレス登録も可能。

(2) 「RADIUS GUARD® S」の基本機能

- ① ネットワーク認証に必要な五大機能(※1)(RADIUSサーバー、認証局(CA)、LDAPサーバー、DHCPサーバー、ワークフロー)をオールインワンで実現。
- ② 全ての機能を1U(EIA規格)ラックのハーフサイズ筐体に凝縮し、省スペース設置を実現。

(※1) 五大機能

- ・RADIUSサーバー
Web、MAC、802.1Xの各認証に対応
- ・認証局(CA)
証明書発行/証明書管理機能、PCはもちろんスマートデバイスにも対応
- ・LDAPサーバー
ユーザー管理、端末管理、認証情報管理機能
- ・ワークフロー
アカウントや証明書の申請から、承認処理、発行までワンストップで処理するワークフロー機能
- ・DHCPサーバー(オプションライセンス)
IPアドレス 1万IP払い出しと管理に対応
「RADIUS GUARD® S DHCP」は標準搭載

3. 「RADIUS GUARD® S」製品価格

「RADIUS GUARD® S」本体(30万アカウントモデル)……………オープン価格

- ・上記価格に、初年度のサポート費用が別途必要です。(24時間365日保守などのメニューを用意)
- ・30万アカウントモデル(新規およびアップデート適用)の場合、価格提示・導入には弊社製品担当による動作要件と運用条件の確認が必要です。
- ・200～20万アカウントモデルの価格は従来通りとなります。

4. 販売目標

2020年3月期までに、RADIUS GUARD® シリーズ全体で10億円(ソフトウェア保守、各種導入サービスも含む)の販売を目指します。

今後も通信事業者、データセンター事業者、電子商取引(EC)事業者、銀行、証券、保険などの金融事業者、大学をはじめとする文教ネットワーク、機械、電子などの製造業、商社、小売などの流通事業者などを中心に、製品の販売をすすめてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ITプロダクト&サービス事業本部 ネットワーク部

電話:03-5859-3034

E-mail:RG-info@ml.scsk.jp

RADIUS GUARD® S 製品サイト <http://www.scsk.jp/product/common/radius/>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 高野

電話:03-5166-1150

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。